

もくせい通信

木津川市立相楽台小学校

令和6年12月24日(火)

令和6年度 研究主題

ゴールに向かって主体的に学び続ける国語学習

～想いをのびやかに表現できる児童の育成～

11月20日(水)に6年2組で国語科「『鳥獣戯画』を読む」の研究授業を行いました。単元のめあては、「筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう」でした。説明文「『鳥獣戯画』を読む」から、資料や言葉の使い方等、筆者の工夫を読み取り、教科書の挿絵をもとに文書に書いて交流する授業でした。さらに、日本文化についての情報を並行読書を用いて文章に表す学習に発展させました。



導入で、応援蛙の様子を「解釈と評価」としてまとめることを確認しました。特に特徴的だと感じた応援蛙のポーズや表情から、応援蛙の様子をどのように捉えたのかを、「解釈」として考えました。

また、応援蛙の様子から自分がどのように感じたのかについて「評価」として考えました。

自分が書いた文章を同じグループの友達に発表しています。友達の文章を見たり聞いたりして、感想や質問、よいと思ったところを伝え合っています。

全体交流では、興味を持った解釈や評価、効果的に使われている工夫に注目していました。



今年度の研究授業はこれで終了となります。3学期は、今年度のまとめを行い、次年度につなげていきたいと思っています。